



- P2 3月議会概要、賛否一覧
- P3 特集「総合計画を問う」
- P4～13 一般質問で町政を問う
- P14 現地視察レポート
- P15 意見書
- P16 最近の議会活動、視察来町
- P17 議員紹介
- P18 要望書、編集後記

令和4年 **3** 月議会
第**68**号



一般質問をYouTube動画配信！
一般質問の動画をスマートフォンやタブレットで視聴できるようになりました。
一般質問のページをお開きいただき、QRコードを読み取りください。

議会だより

■ 標題は福富小学校6年 久原夏葵さんの作品です
くはらなつり



■ 標題は北明小学校1年 副島美朝さんの作品です。テーマは「バッタとわたし」
そえしまみあ

3月定例議会概要

3月定例議会は、3月4日から16日までの13日間で行いました。
町長から、令和4年度当初予算や条例、契約、第3次総合計画など追加議案を含め16件の議案が提出され、各議案は本会議での審査を経て可決しました。

一般質問は10人が行い、農家・漁業者支援、治水対策、まちづくり、高齢者福祉、空き家対策、環境問題などについて、執行部の考えを質しました。

また、議員発議により2件の意見書を可決し、佐賀県知事及び国の関係機関に対し提出しました。



令和4年3月議会定例会には、22人の傍聴者にお越しいただきました。皆さんの傍聴をお待ちしています！

賛否一覧

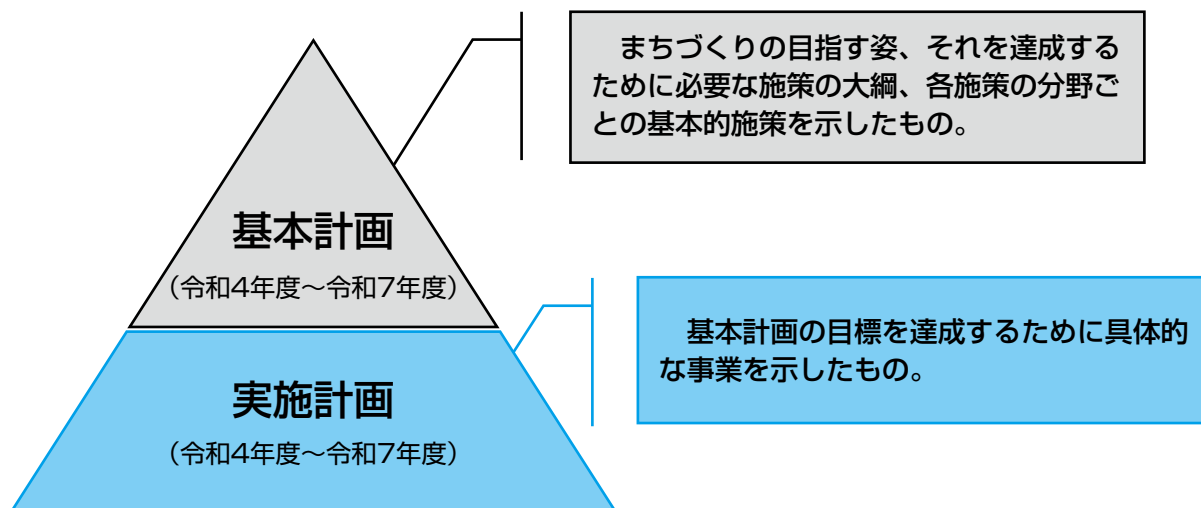
賛成 …… ○ 反対 …… ● 欠席 …… 欠

議案番号	結果	吉岡	岸川	友田	重富	中村	定松	前田	溝口	大串	吉岡	草場	井崎	内野	西山	溝上	
		正博	信義	香将雄	邦夫	秀子	弘介	弘次郎	誠	武次	英允	祥則	好信	さよ子	清則	良夫	
1月臨時会	1 令和3年度一般会計補正予算（第9号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
3月定例会	2 職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	3 国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	4 住ノ江漁港水産生産基盤整備事業棧橋施設第2期工事請負契約の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	5 令和3年度馬田樋管排水ポンプ設置工事請負契約	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	6 人権擁護委員候補者の推薦（横尾良人氏）	異議ない旨答申	全員賛成														
	7 人権擁護委員候補者の推薦（山口恵子氏）	異議ない旨答申	全員賛成														
	8 第3次総合計画の策定	可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	9 令和3年度一般会計補正予算（第10号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	10 令和3年度国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	11 令和3年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	12 令和3年度下水道事業会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	13 令和4年度一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	14 令和4年度国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	15 令和4年度後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	16 令和4年度下水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	17 白石中学校仮設校舎建設・解体工事請負契約	可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長は賛否の意思表示をすることはできません。採決の結果、可否同数となった場合は議長が裁決権を行使します。

総合計画を問う

町の第3次総合計画が、3月議会に提案されました。総合計画は、まちづくりを進めるうえで最も上位に位置づけられる計画です。議員からは、実施計画の策定や目標値について質問がありました。



令和4年度から7年度まで4年間の第3次総合計画が、3月議会に提案されました。

総合計画は、目指す「まち」の将来像と進むべき方向を明確に示し、町民と共有する「まちづくりの指針」となります。その基本計画として、「ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】」など6章19節からなり、「子育て支援」など37の施策について、《めざすべき方向》《現況と課題》《主な取組み》《成果指標》が示されています。(詳しくは、町ホームページをご覧ください)

この計画は、国連で採択された持続可能な目標である「SDGs」と本町の抱えている課題と関連づけられており、わかりやすい計画書となっています。

実施計画が同時に提出されなかったことや目標値の根拠が不明確であることなどの質問がありました。

総合計画の理念である「人と大地がうるおい輝く豊穡のまち」を目指して、議会側も議論を活性化していきたいと考えています。

議員から次の賛成討論がおこなわれ、全員賛成で可決しました。

(賛成討論の要旨)

総合計画の実現にむけては、議会側も重い責任を負う。

については、これからの決算報告時に実施計画の進捗状況を説明するとともに、PDCAサイクルにより適切な事務事業の改善に努めることを求める。

計画期間内であっても、状況の変化に応じ議会の意見を十分に勘案しながら、適切に見直すことをあわせて求めたい。

PDCAサイクル＝「Plan計画→Do実行→Check評価→Action改善」を繰り返しおこなうこと



吉岡 英允 議員

問 コロナ禍における本町独自の稲作農家への支援が必要では

答 農家の生産意欲の衰退を防ぐ手段として検討したい

議員 コロナ禍の影響により米価が下落し、稲作農家の所得が大きく減少している。米価と生産費用について問う。

1万8000円、「ヒノヒカリ」9、500円、「さがびより」1万2、800円。10アール（1反）当たりの標準的な生産費用は9万582円となっている。

議員 自作地での米の生産でさえ収入を支出が上回り、赤字となっている現状で生産意欲は衰退の一途をたどる。最終的に精算した状況は。

農業振興課長 標準的な生産費において計算すると1俵当たり約1万1、180円の手取単価がないとマイナス（減）となる。

議員 全国では稲作農家の経営安定と離農を防ぐために米価下落による減収分を助成している自治体もある。本町独自の農家支援を。

農業振興課長 本町農業において米の生産は基幹となるものであり、価格の下落は農家経営に大きな影響を与えていると

認識しており、農家の生産意欲が衰退しないよう支援策を含め検討していくこととしている。

議員 このままでは、白石平野から米作りがなくなることも危惧される。稲作農家への次期作支援補助金を補正予算にて出すことはできないものか。

町長 本町独自の稲作に対する支援策については、農家の生産意欲の衰退を防ぐ手段として今後検討したい。



問 駅前のにぎわいの創出のための整備は

答 上下分離後、様々な場面を想定しながら決定したい

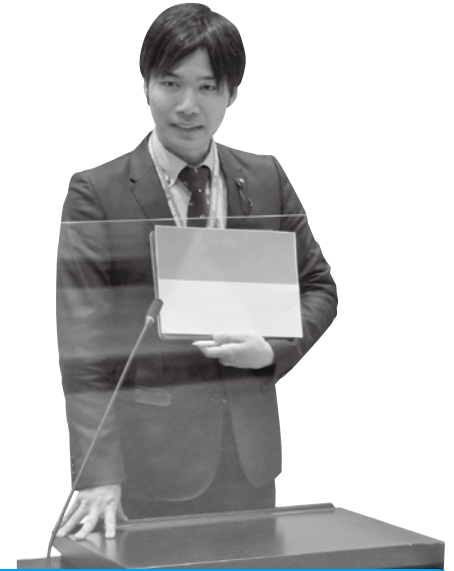
議員 今年の秋には、西九州新幹線が暫定開業される。JRの普通列車や特急を通勤や通学で利用している町民にどのような影響があると考えているのか。

議員 駅周辺の整備と駅前のにぎわいの創出は、

総合戦略課長 利用者の利便性の向上や安全の確保をするための整備を一般社団法人佐賀・長崎鉄道管理センターへ相談しながら進めていく。

また、上下分離後、具体的な協議を関係機関と行う中で様々な場面を想定しながら決定したいと考える。

が、便数保持を要望していく。



友田 香将雄 議員

問 豪雨災害時の被害状況を「みえる化」する
必要は

答 新しい対策に向け情報の更新・共有が必要

議員 流域治水対策事業の状況は。

建設課長 令和3年

豪雨も含めた内水解析モデルの作成等調査検証中であり、6月末までに策定する。

議員 治水の重要点は、過去の被害状況を数値化・データ化

し、「みえる化」を経て検証し、今後の災害を予測することと考えるが。

農村整備課長 地域

毎に用排水調整会議を開催し、農業用水路の事前排水の状況、河川も含めた溢水状況、水の流れ、ゲ-

ト操作の操作可否等を状況収集している。排水時のゲート操作については慣行として閉まっている若しくは操作不可の場所などの確認がとれている。

建設課長 大雨時の

排水は、状況の理解が関係者間でできていないとうまくいかない。新しい対策に向かつて情報を更新・共有することが必要と考える。

議員 六角川分水路

計画における本町の考え方は。

町長 大町から下流

にかけて河道掘削も併せた対策が必要との考え。分水路について反対しており、分水路以外の方法も含めた流域治水を進めたい。

問 学校現場におけるDX化についての
考え方は

答 教職員の多忙な公務の負担軽減に繋がる

議員 G I G A ス

クール構想に向けた取り組み状況は。本町はオンライン授業の導入が遅れている。先日の新聞では教職員のスキルに不安があるとの記事も出た。

学校教育課長 デジ

タル教材の導入については現在計画に無く、国の動向を注視し導入を進める。DX化は教職員の多忙な公務の負担軽減に繋がると考える。

学校教育課長 令和

2年にタブレット端末および各学校に無線LANの整備、令和3年に電子黒板の整備。今年1月には公務用パソコンの整備も併せておこなっている。

教職員への支援は昨年夏よりICT支

問 プラスチックごみ
処分方法見直しは

答 慎重な議論が必要

議員 プラスチック

ごみの処分方法の見直す必要があるのでは。

生活環境課長 本町

ではサーマルリサイクルを継続しつつ、法律の趣旨を町民の皆様様に周知を行い、ごみの削減に取り組んでいきたい。

町長 白石町だけの

問題ではない。慎重に議論していくことが必要。





中村 秀子 議員

問 コロナ禍における業務継続計画（BCP）は

答 非常時に優先的に行う業務を決め行政サービスを滞らせないよう策定している

議員 コロナ禍における業務継続計画はどうか。また、教員や保育士などが勤務できない場合の対応とゴミ収集などの住民サービスは。

総務課長 計画は令和2年度に策定している。非常時に優先的に行う業務を決め行政サービスを滞らせないようしているが、状況に応じて各課と協力し対応したい。

保健福祉課長 保育

士が感染し保育士が不足する場合、自宅で保育可能な場合は登園自粛をお願いし、人員、設備基準を柔軟に取り扱い可能な限り保育を提供できるようにしている。

生活環境課長 ゴミ

収集の業者には感染対策の研修を行うとともに、ワクチン接種券の発送を重症化リスクの高い高齢者への発送時にしている。

また、業者では2班体制にして班員が接触しない工夫をしている。

議員 独り暮らしの高齢者の見守りと支援は。

問 高齢化の中で生涯学習は

答 健やかで心豊かな人生を送るため不可欠

議員 地域のサロンの開設状況は。また、開設できない課題と、開設に向けた町の支援は。

長寿社会課長 町内では地区公民館など



保健福祉課長 マスク等の感染予防対策をして3密を避けながら見守りをしている。コロナ陽性等の場合、町では感染者等を把握できないが本人から依頼があれば買い物支援等できる。

で46箇所のサロンが開設されている。健康体操を主にしたサロンは28箇所である。介護予防の必要性が伝わっていない、ボランティアがいないなどが開設にならない課題である。令和4年度には介護予防ボランティア育成を目的に「認知症・口コモ予防教室」を開催する。

議員 生涯学習の各種講座の在り方は。現在の講座の状況は。ほとと有明クラブでのスポーツサークルの状況と町の支援は。

生涯学習課長 高齢化率が35%を上回る昨今、高齢者が健やかで心豊かな人生を送るため生涯学習は不可欠である。昨年は27件の生涯学習講座を開設した。参加者はシニア層と子供が多く男性が少ない状況である。今後は現状を踏まえ多種多様な講座を届けたい。また、白石の歴史を学ぶ講座も準備したい。

議員 ほとと有明クラブの状況と支援は。

生涯学習課長 地域総合型スポーツクラブでは、バドミントン（ミニテニス）、グラウンドゴルフ、ウォーキング、ヨガを行っており260名の会員が活動している。町では入会受付や交流事業の企画等についてサポートしている。



溝口 誠 議員



問 流域治水推進事業の今後の対応方針について
伺う

答 治水対策メニュー短期・中期・長期の
ロードマップを策定していきます

議員 六角川流域治水対策について、国や県と流域市町の協議はどのように行われているのか。

での取り組みについて「六角川水系流域治水協議会」を令和3年12月20日に開催し、令和3年度末までに「新・六角川流域治水プロジェクト」

を取りまとめるようになっていいる。内容は「内水を流す・内水を貯める・人命を守る」の3本柱とし河川浚渫、田んぼダムやダム、クリークなどの事前放流、内水カメラの新規設置などまた、国の事業として激特事業で六角川河道掘削を馬田橋下流まで延長し湛水池の設置が行われる。

議員 流域治水推進事業における内水の解説状況とそれに伴う今後の対応方針について伺う。

建設課長 「流域治水対策推進事業」について、現在内水解折モデルが概ね完了し、治水対策メニューの検討を県など関係機関の意見等を参考にしながら策定し、

問 子ども医療施設費助成の拡大は

答 財源の確保が必要であり十分検討したい

議員 子どもの医療費助成により、疾病の早期治療と保護者の負担軽減が図られているが、この現状は。

また、高校3年生までの医療費助成を行うことができないか。

保健福祉課長 子どもの医療費助成は、出生から中学生までの医療費を対象としている。令和2年度決算で約7,120万円を支出し、財源

ロードマップ「短期・中期・長期」と併せて策定していきます。

は県費と町費である。子どもの医療費助成は、子育て支援の主要な取り組みの一つである。高校生までの医療費助成については、今後十分検討したい。



問 本町におけるヤングケアラーの実態と支援策は

答 早期把握・適切な支援が行える環境を作っていくたい

議員 本町でのヤングケアラーの実態と支援策について伺う。

保健福祉課長 実態の把握は、非常に難しいが今のところ対象者はいないと思われる。把握するには、学校、地域の民生委員、児童委員、多様な関係機関の理解と協力が必要である。早期把握と適切な支援が行える環境をつくり、子どもの負担を減らしていくるように取り組みたい。



吉岡 正博 議員

問 小学校開校が、遅くなる感じがするが

答 社会変化が大きく、検討を指示した

議員 小学校の統合再編計画は、中学校を参考にすると、令和4年度策定を予想する。そのスケジュールは。

学校教育課長 慎重に検討を重ねている。

議員 今、スケジュールの答弁が無いの

は、令和8・10年度

開校が遅くなる感じがする。町長は、指示また容認か。

町長 審議会の検討は、コロナの無い時。

答申後、社会変化が大きく、検討を指示した。

問 審議会答申から2年経過、状況変化は

答 出生数は、予想より大きく減少

議員 学校統合再編審議会の答申から2年が経過し、状況変化があるが。

総合戦略課長 有明海沿岸道路の開通が、

現在のところ人口増の兆候となっているとは言えない。

学校教育課長 学級

数は、35人学級移行より、児童数減の影響大きい。

出生数は、予想より大きく減少。

スクールバスの新たな事業は、注視する。

学校施設の多機能化は、頭に置く。

GIGAスクールは、統合再編に影響ない。



問 有明の新設小は、令和22年度は適正規模下回るが

答 しっかり検討し、再編を進める

議員 町長は、学校設置者として、先程の状況変化をどう考え指示するのか。

町長 「しっかり見極めなさい」と指示している。

議員 どう進めるかは、政治家である町長のリーダーシップではないか。

町長の後援会資料に「小中学校の再編を進める」とあり、議会でも「リーダーシップで取り組む」と答弁された。

「子どもを通わせたい学校」「町外から人を呼び込む学校」を、早く「見える化」することが大事。教

育的視点に加え、「町を売り出す」視点から町長のリーダーシップに期待する。

審議会の答申は、「適正規模の視点から、2校が望ましい」とある。有明の新設小学校は、令和22年度は適正規模を下回る予想だが、町長の考えは。

町長 「下回ったなら、また再編すればよい」ではない。しっかり検討し、再編を進める。



内野 さよ子 議員



和3年度は40%を超える見込みである。

議員 後期高齢者医療の健診受診率は。

住民課長 令和2年度は31・4%であり、全国平均より高い。

議員 国民健康保険事業における特定保健指導のデータベース活用の評価は。

問 保健事業のデータベース活用の評価は

答 事業のスタッフを増員し強化及び評価を実施したいブランド化を図っている

議員 保健事業の実施にあたり、健康・医療情報を活用して

P D C A (計画・実施・評価・改善)サイクルに沿った効果的な保健事業が求め

られているが、国民健康保険の特定健診の受診率は。

住民課長 平成28年度から40%台で年々伸びていたが、令和2年度35・5%、令

施」の取り組み状況と課題は何か。

保健福祉課長 検診

のデータの分析から課題を整理し、役場関係各課、また医師会・歯科医師会・薬剤師会とも、協力し連携実施している。健康障害のリスクの高い方へのハイリスクアプローチ、またサロン等への講話指導ポピュレーションアプローチを行っているが、課題として自己管理意識の向上のため、健診の必要性について周知に努めたい。

問 町と地域間における「まちづくり条例」が必要では

答 令和4年度、「町民協働検討会」の中で進めていく

議員 学校以外の公

共施設の再編計画については、令和4年度末に決定されている。各学校の跡地問題などまちづくりを計画的に進めていく事が重要と考えるが。

副町長 学校以外の

ように、総合的に考えていく。

議員 地域づくりにおける提言書にある活動拠点、財源の問題や補助金の仕組みなど課題も多いが、町と地域間における「まちづくり条例」等が必要と考えるが。

総合戦略課長 令和4年度「町民協働検討会議」の中で進めて行く予定である。





井崎 好信 議員

問 水稲・大豆への種子代の助成はできないか

答 生産意欲が衰退しないように検討していく

議員 米価の下落で農家は厳しい経営環境にある認識はどう考えるのか。

農業振興課長 コロナ禍による業務用米の需要の低迷が大きい。

議員 令和4年産米の作付計画は。

農業振興課長 収益性の高い「さがびより」に移行している。

議員 収入削減影響緩和対策による補填の対象は。

農業振興課長 現段階では確定は出来ない。

議員 収入保険の保険料の一部を助成したが、その後の加入状況は。

農業振興課長 約2倍となり事業効果が出ている。

議員 次期作支援として水稲、大豆への種子の助成はできないか。

町長 農家の生産意欲が衰退しないように検討していきたい。

議員 コロナ対応臨時交付金の充当はできるのか。

企画財政課長 交付金の活用については、現在検討している。

議員 今年度の転作率は。

農業振興課長 前年度並の38・61%に決

定した。

議員 従事者の減少や高齢化で離農者が増加し担い手不足が懸念されるが。

農業振興課長 稼げる農業を実践する農業人口増加を目指していく。

議員 農地の保全維持管理に対する支援策を国に求めていくべきでは。

農業振興課長 維持保全に支障が出ないよう支援策の拡充を求めていく。

議員 生産費が増大している。小作料を引き下げる時期にきているのでは。

農業委員会事務局長 小作料は、借手と貸手の間で決定されるが、農業委員会としては、貸借料の情報提供を行い、適切

な価格となるよう案内していく。



●白岩地区果樹園視察

問 白石樋門の底盤を下げる改修が必要では

答 国や県へ強く要望していく

議員 今期の海苔養殖は秋芽、冷凍網が不作であった。振興策として白石樋門の底盤を下げる改修を

することの有明干拓地先の漁場改善と只

江川の排水対策に効果があるのでは。

町長 流域治水推進事業の調査で50cm高くなっている。国・県へ強く要望していく。



重富 邦夫 議員



問 建物火災による残存物の処理費用は、被災者に重い負担となっているのでは

答 クリーンセンターへの搬入調整や条件緩和など協力したい

議員 建物火災など被災された方への支援策は。

総務課長 町からの支援は、固定資産税の減免や仮住まいとして町営住宅に入居

できる支援がある。

また、町社会福祉協議会や佐賀県共同募金会、日本赤十字社から基準に基づき、見舞金や毛布、バスタオルなど日用品の

支給が行われている。

議員 建物火災にかかる解体工事や廃棄物処理費用は非常に高額となり、被災者に重い負担となっているのではないかと。

生活環境課長 一般的に建物火災による残存物の処理費用は、通常の2倍から3倍近くになる傾向にある。

火災による残存物は、さが西部クリーンセンターに一般廃棄物として搬入でき、民間の処理施設より処理費用は安く済むと思われる。条件もあるため、まずは現場へ相談いただければ現地を確認し、クリーンセンターへの搬入調整や条件緩和など協力をさせていただきます。

問 消防団のネットワーク化を行うべきでは

答 団員一人ひとりが得意分野で活躍できる組織づくりを行いたい

議員 消防団活動に地元の高校生が参加する仕組みがあれば、防災意識の向上や次世代の担い手育成など様々な効果があるのではないかと。

総務課長 消防団を知っていたり、ためにも大変有意義であると考えている。しかしながら、消防団活動は危険を伴うことが多く、高校生が消防団活動に参加していただくことは大変難しいと考えている。

高校生を対象とした出前講座などを通して、消防団を知り、防災意識の向上や将来の消防団員の確保につながる取り組みを検討していきたい。

議員 消防団のネットワーク化を行うべきでは。

総務課長 今後は、消防団員の重機オペレーターや船舶免許など資格の調査を行い、団員一人ひとりが得意分野で活躍できる組織づくり、火災や水害、行方不明者捜索など、あらゆる事態に対応できるよう検討したい。



●消防入退団式



岸川 信義 議員

問 排水対策の専門部署を設置し、命令系統を1本化し町民にビジョンを示すべきでは

答 現体制でさらに連携を強めて、治水対策に取り組む

議員 国道444号沿いにある有明水路の概要説明及びその東地域の令和4年度クリーク防災事業について。

完成した長さ約9・5キロ、川幅約15メートルの水路で、東は六角川、西は廻江川、中央は只江川と接しており、東と西に接する河川には排水機場が整備されている。

また、只江川の東側に有明海岸へ有明支線水路があり、海岸部には排水機場が整備されており、地域の冠水被害を未然に防ぐ重要な機能がある。

令和4年度から行われる県営クリーク防災機能保全対策事業では、第1期として有明水路より南東側の水路内の浚渫と排水管理に適した護岸整備を行い、洪水調整機能の保全と強化に取り組む。

議員 昨年7月から実施している流域治水対策推進事業の進捗状況は。

建設課長 令和元年豪雨にかかる内水解折モデルをベースに治水対策メニューを検討することとして

問 令和4年度商品券の取り組みを行い、町内の活性化に努めるべきでは

答 令和4年度の財源確保の状況を見て、実施したい

議員 令和3年度商品券事業の総括は。

総合戦略課長 商品券の有効期間を令和3年8月から12月末

いたが、昨年8月の大雨も踏まえた内水解折モデルを追加指示し、令和4年6月まで完了する。

議員 短期及び中期の豪雨排水計画(書)を策定するべきではないか。

建設課長 流域治水対策推進事業の中で具体的に対策メニューを短期・中期・長期でできる計画を策定することとしている。

日まできし実施した。

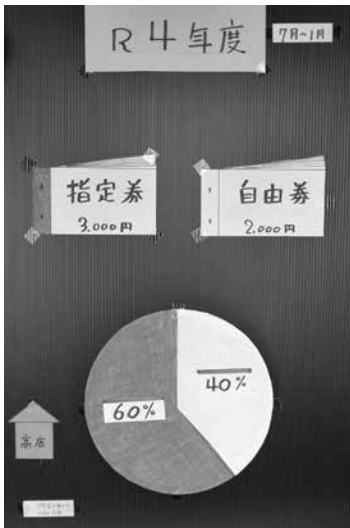
当初の換金目標を換金率95%としていたが、目標を上回る97%以上であった。

町民の生活支援と地元経済の活性化に大きく寄与したと思う。

議員 議会から、直接給付する事業を優先的に行うよう要請書を提出した①②③を提案する。

- ①お盆と正月を見据え、7月から1月中旬までの有効期間
- ②一人当たり5千円の給付
- ③大型店で7割以上の商品券が使用されたので、次回は大型店以外に、6割の商品券を使用できる仕組み作り

総合戦略課長 今後、地方創生臨時交付金を原資とした新たな事業については、緊急性を含め優先度を図りながら検討したい。



●岸川議員持ち込み資料



前田 弘次郎 議員



問 道の駅しろいしと町との関わりは

答 本町に訪れたお客様をお迎えする
玄関口として考えている

議員 道の駅しろいしと町との関わりは。

商工観光課長 本町

に訪れたお客様をお迎えする玄関口として考えている。本町と道の駅しろいしカン

パニーは、指定管理者基本協定を締結している。主に24時間

トイレの電気料や上下水道料及び清掃費用、または消防設備保守点検料などの法

定検査委託料、施設管理費として総額1、900万円で、「道の駅しろいし」の適正かつ円滑な管理運営を委託している。

議員 店舗やレストランの形態は現在のままでもいいのか。

商工観光課長 福富

I・Cの開通後は、土日の午前中に多くの来場者にお越しいただいているため、レジ周辺に会計待ちのお客様が並ばれた場合に混雑が激しい状況が続いている。

レストランについても、いままで調理人の交代も数回あったことから、将来的にはテナントとして貸出すことも、一つの案として提案されている。

問 今期の海苔養殖の現状は

答 近年にない不作であった

議員 今期の海苔養殖の現状は。

農村整備課長 赤潮

による食落ちやカモによる食害などにより、近年にない不作であった。

議員 水産資源の回復と海苔養殖の振興など、漁業者に対する支援策は。

農村整備課長 漁業

者自ら環境・生態系保全のための取り組みとして、カキ礁の造成、サルボウ稚貝の沈着促進、海底耕耘などの水産多面的機能発揮対策事業を実施されており、令和4年度もその取り組みに対し引き続き支援を行うとともに、

カモの食害対策として駆除補助金の増額を行っている。

また、海苔漁業者の負担を軽減し、海苔養殖業の継続を支援するための補助金を補正予算として計上した。



●海苔養殖業支援の県知事要望

問 心のバリアフリー化への考え方は

答 支え合える社会を構築したい

議員 心のバリアフリー化に対する町の考え方は。

生涯学習課長 総合

計画の基本理念「人と大地がうるおい輝く豊穡のまち」を指すという観点からも、心のバリアフリーを推進し、だれもが積極的に助け合い・支え合える社会を構築していくことは不可欠であると考える。

特定空家の代執行

1月13日、倒壊の危険性がある空き家を除却するため、空家等対策の推進に関する特別措置法に基づき行政代執行の宣言が行われた。

今回、解体し除却するのは木造2階建ての家屋で、約2箇月で撤去が行われ、その費用は所有者に対し請求される。町では、これまでも所有者には除去や法に基づいた指導や勧告を重ねてきたが、応じないためやむを得ず行政代執行で強制的に取り壊すことになった。

議会では、空き家問題の改善と、所有者がしっかりと管理されるための啓発などの方策も、研究を深めていく必要性があることを認識した。



●執行責任者による代執行宣言

杵島地区環境センターを視察

1月18日、大町町に新しく完成した杵島地区環境センターを視察した。

この施設は、杵島郡大町町、江北町、白石町のし尿や汚泥を処理するため、現在の施設の老朽化に伴い建設され、4月から本格稼働される。1日にし尿47^{キロ}リットル、浄化槽汚泥28^{キロ}リットルを処理することができ、肥料にできる粒子状のリン酸マグネシウムアンモニウムを生成する資源化設備を備えた施設となっていることが説明された。

議会では、住民が環境に対して関心を持って生活できるような周知の必要があると認識した。



●担当者から説明を受ける

海苔養殖場現地調査

1月17日、有明海で不漁が続く海苔養殖の漁場の現場を漁協関係者と視察した。

色落ちして赤くなった海苔網を確認し、その原因についてはプランクトンの大量発生や雨が少なく栄養が不足していることが原因で、質量ともに例年の5割以下であると報告を受けた。

また、カモの食害による被害も確認した。産業建設常任委員会では、これからの状況も注視しながら、町や県などへ支援要請を検討していくことを確認した。



●海苔養殖場の調査

子どもの医療費助成の拡充を求める意見書

少子化や子どもの貧困が深刻化する中、子どもの医療費は子育て世帯に重い負担になっている。親の経済的状況に左右されることなく、全ての子どもが必要な医療を受けられる環境づくりが急務である。

現在、佐賀県内全ての市町において、中学校卒業まで入院・通院とも医療費助成が行なわれているが、市町に対する佐賀県の医療費助成は未就学児までであることから早急に中学校卒業まで医療費助成の拡充が必要である。

また、医療費助成を現物給付している自治体に対しての、国民健康保険国庫負担金の減額調整措置は不合理であり、早急に見直しが必要である。

よって「子育てし大県“さが”」を標榜する佐賀県において、以下の2点を実行されるよう求める。

記

1. 佐賀県の医療費助成制度の対象年齢を中学校卒業まで拡充すること。
2. 国に対して、現物給付を理由とした国民健康保険国庫負担金の減額調整措置の廃止を求めること。

令和4年3月16日 佐賀県知事 山口 祥義 様



●提案者の草場祥則文教厚生常任委員長

有明海再生の対策と赤潮被害への支援を求める意見書

佐賀県南西部に広がる有明海は、地元では「まえうみ」の愛称で親しまれ、かつてアゲマキやワラスボをはじめとする豊かな海産物にあふれ、地域住民の命をつなぐかけがえのない「宝の海」であった。しかし、近年では、次第に生き物の多様性が失われ、魚介類の生息数も激減したことで、人々の心も「まえうみ」から離れていくように感じられる。

一方で、まだ全国的に見れば、有明海は広大な干潟などの貴重な自然環境が残る素晴らしい海であり、その豊かな海を子々孫々に残していくのは、有明海の恵みを受けて今を生きる私たちの使命である。

現在、有明海において、魚介類の漁で生計を立てる漁業者は大きく減少し、海苔養殖業者がほとんどであるが、その海苔の生産量の落ち込みが、ここ数年、有明海南西部で顕著となっている。とりわけ今漁期は、海水を浄化する二枚貝の死滅や赤潮被害で、秋芽海苔の生産が大打撃を受け、冷凍海苔も栄養塩不足等による色落ちや成長阻害が甚だしく、これまで多額の設備投資を行い良質な佐賀海苔を全国に提供してきた白石町、鹿島市及び太良町の多くの海苔養殖業者は経営の危機に瀕している。

有明海における漁場生産力の低下の原因には、様々な理由が挙げられているが、いずれにしても人間の活動による有明海の自然環境の変化が一因と考えられ、原因の究明は喫緊の課題となっている。特に諫早湾干拓事業が、地理的に近い佐賀県南西部に及ぼす影響については、早急な調査及び対策が求められる。

よって国においては、長年続いた諫早湾干拓堤防開門訴訟の判決如何にかかわらず、一刻も早い有明海再生へ向け、下記事項について実施されるよう強く要望する。

記

1. 「有明海及び八代海等を再生するための特別措置に関する法律」に基づき、水産資源回復のための再生策を確実に実行するとともに、今冬の有明海南西部における海苔養殖業の赤潮被害に対する支援・救済を行うこと。
2. 有明海南西部の海況を改善するため、諫早湾干拓堤防開門調査も含めた有明海の調査研究を行うこと。
3. 有明海再生のために国及び関係者が参加する話し合いの場を設け、協議することにより水産業や環境に関する問題の解決を図ること。

令和4年3月16日

衆議院議長 細田博之 様ほか関係大臣など



●提案者の前田弘次郎産業建設常任委員長

視察来町（江北町議会・太良町議会）

2月9日、江北町議会と太良町議会から、本町議会で取り入れているタブレット会議システムの導入について視察された。

本町議会広報特別委員会の定松委員長から、会議システム導入までの経緯や活用方法、また、実際にタブレットに触れながら会議の手法を説明した。両町でも導入に向けて検討を進めておられ、運用開始後の課題などについて質問された。

本町議会では、業務のICT化、デジタル化を進めるとともに、併せて職員の負担軽減につなげていく必要があるとあらためて認識した。



最近の主な議会活動（1月～3月）

日	曜	
4	火	成人式
8	土	消防出初式
11	火	議会運営委員会 杵東地区衛生処理場組合新処理棟完成式
13	木	特定空家代執行現地調査 議会だより編集会議
14	金	臨時議会 北方領土返還要求運動佐賀県民会議表敬訪問 佐賀県町村議長会議長・局長会議
17	月	海苔の漁場視察
18	火	杵東地区環境センター視察
26	水	馬田地区要望書提出対応

日	曜	
4	金	障がい者基本計画策定委員会
7	月	佐賀県後期高齢者医療広域連合2月議会議案勉強会、代表者会議
8	火	環境審議会（書面決議）
14	月	県町村議会議長会定期総会
15	火	佐賀県後期高齢者医療広域連合2月議会
17	木	杵藤地区広域圏組合議会2月定例会（開会）
18	金	佐賀県西部広域環境組合2月定例議会

日	曜	
21	月	議会運営委員会 六府方区より要望書提出対応 杵東地区衛生処理場組合議会2月定例会
25	金	文化振興財団理事会・評議委員会 国民健康保険事業の運営に関する協議会

日	曜	
1	火	須古地区より要望書提出対応
4	金	3月定例議会（開会）
7	月	議案審議（～14日）
14	月	議案審議・一般質問（～16日）・閉会
17	木	社会福祉協議会理事会
19	土	白石土地改良区通常総代会（書面議決）
23	水	社会教育委員会及び公民館運営審議会 障がい者基本計画策定委員会 男女共同参画等に関する懇話会
24	木	六角地区地域づくり協議会設立準備委員会
25	金	子ども・子育て会議及び子どもの未来応援会議
28	月	六角地区より要望書提出対応 社会福祉協議会評議員会 健康づくり推進協議会 杵藤地区広域圏組合議会2月定例会（閉会）
29	火	議会だより編集会議 有明海赤潮被害に対する要望書提出



総務常任委員会

委員長：溝上 良夫
副委員長：友田香将雄
委員：西山 清則
吉岡 英允
定松 弘介

※主に財政、防災、まちづくりなどを所管しています。



文教厚生常任委員会

委員長：草場 祥則
副委員長：中村 秀子
委員：内野さよ子
井崎 好信
吉岡 正博
片淵栄二郎

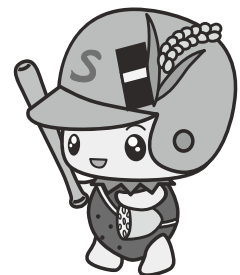
※主に福祉、環境、学校教育、生涯学習などを所管しています。



産業建設常任委員会

委員長：前田弘次郎
副委員長：溝口 誠
委員：大串 武次
重富 邦夫
岸川 信義

※主に産業振興、道路、基盤整備などを所管しています。





要望書を受け取りました

●馬田地区(宿班)の災害(冠水)防止に関する要望

提出者 馬田区長 俵野利幸

●町道弁財線他地区内道路改良に関する要望

提出者 六府方区長 千布和正

●須古校区の大雨時冠水被害縮減対策要望

提出者 須古地区区長会会長 香月文敏

●豪雨(大雨)排水について要望

提出者 六角校区区長会会長 川崎良則

編集後記



♪ああ 川の流れるように…名曲「川の流れるように」の一節です。日本の美を人生にたとえて唄われています。

陽気な5月ともなれば、万物が活性化し、当然大気も大きく動いています。さらに、入道雲が現れる頃は、豪雨に注意しなければならなくなるでしょう。

編集委員会では、白石町の豪雨災害がなくなる白石調「川の流れるように」を作ってみました。

♪ああ 川の流れるように とめどなく水は海(有明海)に 旅するだけ

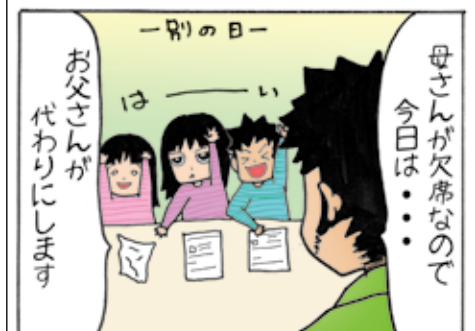
役場から、事前排水の放送がありましたら、ゲート役員さん・ポンプ役員さんは、この歌を口ずさんで事前排水の作業にご協力お願いします。

(岸川)

議会戦隊 炊飯ジャー

作: Sachieemon

第32話「議長」



議長とは

※議長と副議長は、議員の中から選挙で選ばれます。議長は議会を代表するとともに議場の秩序を守り、会議を進めます。副議長は議長が出席できないときなどに議長の代わりを務めます。



白石町議会だより/第68号

発行/白石町議会 佐賀県杵島郡白石町大字福田1247-1
TEL 0952-84-7126 FAX 0952-84-6611

編集/議会広報特別委員会
責任者/白石町議会議長片瀨栄二郎

広報委員 委員長 定松弘介
副委員長 友田香将雄
委員 中村秀子 重富邦夫 岸川信義 吉岡正博